

YRS
ユアーズ

横浜ラポール
Support

横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設だより

横浜ウエーブ

第 168 号

トピックス

ヨコハマ・ヒューマン&テクノランド2017 開催しました

7月28日(金)・29日(土)の2日間、ヨコハマ・ヒューマン&テクノランド2017(愛称:ヨッテク、横浜市リハビリテーション事業団主催の福祉機器展)がパシフィコ横浜展示ホールDで開催されました。



当施設は「音や聞こえを快適に」をテーマに展示ブースを設けました。毎年恒例の大きな垂れ幕と、当施設事業の紹介パネルで展示ブースをアピールし、皆様をお迎えしました。

今年は有限会社 千里福祉情報センター横浜支店様にご協力をいただき、インターフォンの音や目覚まし時計の音、様々な生活の音を振動や光に変える機器を展示し、皆様に体験していただきました。据置型、腕時計型、ポケットやベルトに挟むタイプの機器など、様々な機器を展示しました。その他、ワイヤレス補聴スピーカーシステム、ヒアリンググループシステムといった、より良い聞こえに関する機器の展示も行いました。

また、ブースに設置した「アンブルボード」は、自然災害発生時の避難所等で使用されているそうです。夜間、暗い所でも目で見て分かる情報がリアルタイムで提供できる機器として、熊本の震災でも使用されたそうです。

聞こえない当事者だけでなく、聞こえるお客様、家族の方、行政や企業や施設の方と幅広い方に体験していただき、聞こえない人にとって便利な機器は聞こえる人にも便利、との感想をたくさんいただきました。



【アンブルボード】

2018年は7月20日(金)・21日(土)に開催します。詳細は紙面でお知らせいたします。
来年の夏、ヨッテクに、ヨッテク?!

トピックス

県議会の手話通訳配置について

2017年6月より、神奈川県議会本会議の代表質問に手話通訳者の配置が始まりました。この取り組みは、神奈川県内3箇所の聴覚障害者情報提供施設(神奈川県聴覚障害者福祉センター、川崎市聴力障害者情報文化センター、横浜ラポール)がそれぞれ協力し、手話通訳者の手配をおこなっています。傍聴席でも、インターネットでも、手話通訳映像がご覧になれます。※県庁新庁舎1階ロビーのテレビでもご覧いただけるほか、インターネットでも生中継及び録画配信(後日)をしています。



【議会の手話通訳映像】

次回の配置は、9月の本会議代表質問です。

※詳しくは神奈川県議会のホームページをご確認ください。

トピックス

【参加報告】 浜の会茶話会に参加しました

平成 29 年度第 3 回「浜の会茶話会」（主催：神奈川県ろうヘルパー連絡会かもめの会「浜の会」、横浜市聴覚障害者協会）に参加しました。

第 3 回は 8 月 7 日（月） 13 時～、西区社会福祉協議会福祉保健活動拠点フクシアで行われました。

当施設の職員から、聴覚障害者情報提供施設の受付時間の変更及び、通訳者の目印（バッジ）の変更の説明をし、質問を受ける形で話が進み、改めて、顔を合わせて手話で説明することの大切さを実感する機会となりました。

この日の茶話会は、台風の影響もあって少人数でしたが、和気あいあいとした雰囲気でした。



普及・啓発事業

【実施報告】

普及・啓発事業の取り組み

「障害者差別解消法に基づく区職員向け研修会」を、緑区（7 月 5 日、7 月 19 日）と戸塚区（8 月 9 日、8 月 23 日）で実施しました。本研修は、平成 28 年・29 年度の 2 ヶ年の事業で、今年度は 10 区で開催予定となっています。

研修は 2 日間で、1 日目、前半は障害者差別解消法や合理的配慮について、後半は聴覚障害に関する基礎知識やコミュニケーション方法等の講義を行いました。2 日目はゲストとして、横浜市聴覚障害者協会と横浜市中途失聴・難聴者協会から当事者を招き、区役所内での場面を想定したロールプレイを行いました。



【緑区の様子】



【戸塚区の様子】

その後は、当事者ゲストや区職員からの感想、気付いたことなどを話し合いました。当事者からの体験談は、参加者から、当事者の対応についてとても参考になる、との感想がありました。

派遣事業

【実施報告】

平成 29 年度第 1 回横浜市手話通訳者・要約筆記者 派遣事業運営委員会を開催しました

7 月 19 日（水）、標記運営委員会を開催しました。同運営委員会は平成 26 年度から派遣事業実施要綱に位置づけられ、今年度も第 1 回目は手話・要約合同開催としました。



【運営委員会の様子】

まず、派遣担当職員から平成 28 年度派遣事業概要報告の後、各団体から寄せられた議題を元に意見交換をしました。事業概要については、記載方法に関するご意見（項目別の昨年度対比を掲載した方が良い、等）をいただきましたので、来年度以降反映していく予定です。他、横浜市聴覚障害者協会からは情報事業の予算・決算について、横浜市要約筆記者協会からは派遣窓口から通訳者への連絡手段、派遣事業に関する市民への啓発等についてご意見をいただきました。

今後も、派遣事業の円滑な実施に寄与する、充実した協議の場となるよう取り組みます。平成 29 年度第 2 回目の委員会は、手話が平成 30 年 1 月 17 日（水）、要約は 2 月 14 日（水）に開催予定となっています。

派遣事業

【実施報告】

手話通訳・要約筆記者合同研修 7月1日(土)

「最近の障害者福祉制度と相談支援」

横浜市総合保健医療センター総合相談室 伊藤未知代氏を講師にお招きし、上記テーマで研修を行い、104人が出席しました。講師は一昨年まで厚生労働省に勤務されており、今回の研修では、最新の資料とともに講義いただきました。

障害福祉施策のこれまでの経緯について、そして、障害者総合支援法に基づく意思疎通支援事業、地域での生活支援から障害者差別解消法まで、盛りだくさんのお話の中で、派遣制度の位置づけ等を体系的に理解することができました。相談支援の場面でも、今後、通訳の機会が増えていくとの話があり、通訳者も度々改正される制度について、注視していく必要があると改めて感じた研修でした。

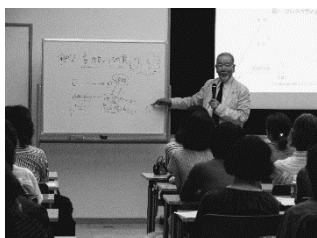


【講義の様子】

手話通訳者全体研修 8月5日(土)

「通訳とは何か」

大東文化大学 名誉教授 近藤正臣氏を講師にお招きし、上記テーマで研修を行い、85人が出席しました。講師は、1960年代から日英同時通訳者としてILOなどの国連機関や、政府関係の会議などで活躍されてこられた経験豊富な通訳者でもいらっしゃいます。国際会議などでのリレー通訳の方法や歴史的背景も含めた貴重なエピソードはとても興味深く勉強になりました。音声言語通訳におけるお話は、手話通訳にもあてはまり、メッセージを的確につかみ、原発言に近づけるという通訳の基本について確認した研修でした。



【講義の様子】

【参加報告】

平成29年度 意思疎通支援担当者研修会

7月19日(水)～21日(金)の3日間、全国聴覚障害者情報提供施設協議会主催の上記研修会が京都市内で開催され参加しました。昨年までコミュニケーション支援担当者研修会として行われ、今回名称が変わったものです。全国43施設から52人の担当者が集まりました。

1日目は、九州産業大学 国際文化学部臨床心理学科教授・手話通訳士の倉知延章氏によるスーパービジョンの意義と効果の講義と実践でした。2日目は、「災害時の情報提供施設の役割」をテーマに、熊本県聴覚障害者情報センター所長の小野康二氏と、近隣県としてコーディネートを担当した長崎県聴覚障害者情報センター下瀬和枝氏による講義があり、その後、ブロックにわかれグループ討議を行いました。3日目は、「障害者差別解消法施行後の状況」をテーマに、都民総合法律事務所 弁護士 田門浩氏による講義と、各施設から事前に寄せられた実際の派遣事例を法律に照らし合わせ、その考え方について説明していただきました。



【講義の様子】

手話通訳者が専門職として学びあい、支え合い、成長しあう職能集団になることにつながるためには、スーパービジョンの機会が必要であること、熊本地震の経験から、日頃から近隣の情報提供施設で災害時についての連携や協力を具体的に話し合う場の必要性、障害者差別解消法と障害者総合支援法による派遣の考え方の整理が求められていることなど、多くのことを学びました。職員間で共有し、今後の業務に活かしていきたいと思えます。

事業PR

今年も開催します！ラポールの祭典2017

9月3日（日）横浜ラポールにて、ラポールの祭典2017を開催します。今年「ありがとう！！～開館25周年～みんな笑顔！」をテーマに、昨年に引き続き当施設もミニ手話教室、パネル展示等を行います。そして今年はデフアスリートをゲストにお招きし、スポーツに関すること等をいろいろとお話いただく予定です。講演には、手話通訳と要約筆記（パソコン）が付きまします。ご来場の皆様に実際の通訳現場を見て知っていただく機会を提供できればと考えています。また、ご来場いただいた皆様には毎年大好評！のオリジナル缶バッジを差し上げます。



【昨年の様子】

皆様、お誘い合わせのうえ、ぜひ、ご参加ください。スタッフ一同、お待ちしております。

出た！データ！

（7月末までの累計）

■通訳者の派遣・紹介人数

内容	手話通訳	要約筆記	合計	昨年同月
医療・保健	1723	90	1,813	1,750
司法	30	2	32	20
教育・保育	299	34	333	399
労働・雇用	252	21	273	327
社会生活	407	47	454	431
自己啓発	77	48	125	112
福祉推進	302	503	805	786
相談員	0	0	0	2
他都市	56	6	62	—
合計	3,146	751	3,897	3,827
昨年同月	3,130	697	3,827	

■聴覚障害者の相談

相談事業	実件数	対応数
医療	35	62
職業	6	7
教育	0	0
住宅	5	6
生活	79	106
福祉	36	65
法律	8	15
聞こえ	12	16
合計	181	277
昨年同月	189	297

■通訳者の現任研修

手話	回数	参加人数
要約筆記	回数	参加人数
		450
		172

■映像・字幕制作

自主制作作品数	20
---------	----

情報動き

7月

- 1 手話・要約合同研修
- 3 手話1年次研修
- 4 手話養成講師リーダ会議・運営委員会（横聴協）
- 5 要筆現任研修
- 5 浜要協との協議
- 5 区職員研修（緑区1/2）
- 7 視察対応（さいたま市）
- 8 手話養成運営委員会・養成Ⅲ観察実習（横聴協）
- 10 手話専門研修
- 11 要筆養成に関する会議（浜難聴）
- 11 視覚機器点検
- 12 手話養成指導状況見学
- 18 実習新人研
- 18 手話養成Ⅲ観察実習（横聴協）
- 19～21 全聴情協意思疎通支援担当研修（京都）

8月

- 19 手話・要約派遣事業運営委員会
- 19 区職員研修（緑区2/2）
- 22 手話統一試験説明会（京都）
- 24 衛生委員会
- 25 手話2年次研修
- 25 救急法研修
- 26 実習対応（ろう学校高等部）
- 28～29 ヨコハマ・ヒューマン&テクノランド
- 31 主管課予算ヒアリング
- 31 手話養成Ⅲ観察実習
- 31 手話課題別研修
- 1 手話養成運営委員会（横聴協）
- 2 要筆現任研修
- 3 実習対応（ろう学校教諭）
- 4 実習対応（県立高校教諭）
- 5 手話全体研修
- 6 障聴強化練習

- 7 手話1年次研修
- 7 浜の会茶話会参加
- 8 視覚機器点検
- 9 区職員研修（戸塚1/2）
- 9 県議会局打合せ（県庁）
- 9 手話養成指導状況見学
- 16 見学対応（市内中学生）
- 8/22～9/3 実習生受入（国八、日福）
- 22 手話3年次研修
- 23 区職員研修（戸塚2/2）
- 23 手話養成指導状況見学
- 24 手話試験委員会（横聴協）
- 26 通訳養成指導状況見学
- 28 衛生委員会
- 29 手話養成運営委員会（横聴協）
- 30 全聴情協ブログ会議（横浜）

横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設だより《横浜ウェブ》

発行日：平成29年8月31日

発行者：（社福）横浜市リハビリテーション事業団 横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設

〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1752 TEL. 045-475-2057 FAX. 045-475-2059

ホームページ <http://www.yokohama-rf.jp/rapport/jyoutei/>